

ISSN 2759-9191

第48回国際日本文学研究集会 予稿集

THE 48th INTERNATIONAL CONFERENCE
ON JAPANESE LITERATURE

2025年5月10日(土)~5月11日(日)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 

NATIONAL INSTITUTE OF JAPANESE LITERATURE
NATIONAL INSTITUTES FOR THE HUMANITIES

使用言語 日本語

第 48 回国際日本文学研究集会
予稿集

THE 48th INTERNATIONAL CONFERENCE
ON JAPANESE LITERATURE

開催にあたって

国際日本文学研究集会は、日本文化、日本文学に関する国際的な研究集会をもちたいという国内外のかねてからの声に応える形で、1977年11月に第1回が開催されました。同年6月に国文学研究資料館の開館式が行われておりますから、この集会はまさに当館と歩みをもとにしてきた事業の一つといえるでしょう。

以来、本集会は「国内外の日本文学研究者による研究発表と討議により、広い視野からの日本文学研究の進展を図り、研究者相互の国際交流を深める」という設立趣旨のもと、継続して開催され、今年で第48回を迎えることとなりました。

この間、日本文学・文化研究のあり方は多様化し、国際的な研究集会や学会も増えてきましたが、本集会は当初の設立趣旨を受け継ぎつつ、日本文学研究のさらなる広がりや未来に目を向けていきます。国内外の研究者、さらには若手研究者の発表を歓迎いたします。

2025年4月

国文学研究資料館 国際日本文学研究集会専門部会

国際日本文学研究集会は国際日本文学研究集会専門部会の審査のもとに運営されています。

【国際日本文学研究集会専門部会委員】

サイトウ マサオ
斎藤 理生 大阪大学大学院人文学研究科 教授

シュ シュウジ
朱 秋而 国立臺灣大學日本語文學系 教授

スズキ ケンイチ
鈴木 健一 学習院大学文学部 教授

ニイミ アキヒコ
新美 哲彦 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授

ヒラノ タエ
平野 多恵 成蹊大学文学部 教授

カジ オ フミタケ
梶尾 文武 神戸大学大学院人文学研究科 准教授

ジョナサン ズイッカー
Jonathan Zwicker カリフォルニア大学バークレー校 准教授

ダヴァン ディディエ
Davin Didier 国文学研究資料館 教授 研究主幹

オカザキ マキコ
岡崎 真紀子 国文学研究資料館 教授 研究主幹

ヤマモト カズアキ
山本 和明 国文学研究資料館 教授 研究主幹

オオタ ナオヒロ
太田 尚宏 国文学研究資料館 准教授

クリハラ ユタカ
栗原 悠 国文学研究資料館 准教授

ヤマモト ヨシタカ
山本 嘉孝 国文学研究資料館 准教授

ノット ジェフリー
Knott Jeffrey 国文学研究資料館 助教

目次

■研究発表■

(発表要旨) 発表資料ページ

第1セッション

奈良・平安初期の書序と進書表について
—「古事記序」再論—

オウ カクカク
王 格格……………(3) 4

文の解釈と作品の解釈—『伊勢物語』「さるさがなきえびす
心を見てはいかがはせむは」考—

クリタ ガク
栗田 岳……………(8) 9

第2セッション

西行の釈教歌における自然と仏教的解釈
——法華経二十八品歌の「方便品」を中心に

ラ ケツシン
羅 杰彬……………(13) 14

細川幽齋『九州道の記』における地名の詠み方
—実景と伝統の調和—

コウ イツショウ
黄 逸松……………(18) 19

『平家物語』灌頂卷前半部の形成過程
——結節点としての「女院出家」「大原入」——

ノナカ ジョウジュン
野中 成淳…(23) 24

第3セッション

『枕草子』周作人訳と林文月訳との比較
——「頭弁の、職にまゐりたまひて」段前半部を中心に——

ユ ウゴウ
顧 宇豪……………(28) 29

江戸時代における詩経名物学の展開
—京都本草学派を中心に—

シャ ソコウ
謝 蘇杭……………(33) 34

第4セッション

『通俗三国志』章題の典拠と方法

オウ ジョンキン
王 順鑫……………(39) 40

—幸田露伴の方法への復帰と再検討—

デビュー作『ひと夜』から始まる革新:

エ レ ン チ ノ フ クリスティーナ
Erenchinova Kristina…(44) 45

宇野信夫と一幕物の世界

帝国の統治恐慌と熱帯病について

シヤ アヘイ
謝 亜平……………(49) 50

—森三千代の「南溟」を中心に—

第5セッション

松岡譲『敦煌物語』における「大谷ミッション」の表象

リュウ トウハ
劉 東波……………(54) 55

——未公開草稿を手掛かりに

日本語と中国語の間—楊逸、李琴峰、横山悠太の「日本語
文学」におけるバイリンガル性—

ザ ベ レ ジ ナ ヤ オリガ
Zaberezhnaia Olga…(58) 59

「童謡」の概念再考“Childlike, though Never
Childish”——金子みすゞの「童謡」を手がかりに——

ム テ イ グ リ ナ スベトラーナ
Mutygulina Svetlana…(63) 64

第6セッション

安部ヨリミの創作活動とその生涯に関する伝記的研究

クラチ トモヤ
倉地 智哉……………(68) 69

——プロレタリア作家から歌人への変貌——

多和田葉子「ペルソナ」における遊歩者の表象

ケイ アナン
邢 亜南……………(73) 74

■インフォメーション・セッション発表■

1900-1920年代の東京における文学者とカフェ

ゴキタ セナ
五木田 星南……………80

『江戸六地藏建立之略縁起』の分析(類本情報のお願い)

スギモト カズエ
杉本 和江……………81

発表者紹介 ……………82

プログラム ……………87

第48回国際日本文学研究集会予稿集

2025年4月25日発行

編集・発行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

〒190-0014

東京都立川市緑町10-3

電話 050-5533-2650

FAX 042-526-8604

URL <https://www.nijl.ac.jp/>

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 

NATIONAL INSTITUTE OF JAPANESE LITERATURE
NATIONAL INSTITUTES FOR THE HUMANITIES